

「価値ある未来」に向けた都市づくり

平成12年3月、吉川市の都市計画に関する基本的な方針となる「吉川市都市計画マスタープラン」を策定しました。

吉川市では、この計画に基づき、「土地区画整理事業による質の高い住宅地整備」や「幹線道路の整備」「吉川美南駅の開業」などに取組み、快適で住みよいコンパクトな「都市づくり」を進めてきました。

その結果、吉川市は、現在も人口が増加している全国的にも稀有な自治体となっています。近年は、吉川美南駅の東口側における大規模な土地区画整理事業に積極的かつスピード感を持って取り組んでおり、また、吉川橋の架け替えを含む「越谷吉川線の整備」や、経年劣化してしまった「公園の再生」なども進め、吉川市の未来を見据えた事業を展開しています。

そうした中、吉川市の最上位計画である「吉川市総合振興計画」の「第6次計画」の策定に合わせ、この度、「吉川市都市計画マスタープラン」も改定する運びとなりました。

今回の改定では、「都市づくり」の基本理念を「人と自然をはぐくみ ゆとりとやすらぎのある 健幸^{*}で持続可能な都市づくり」として掲げ、誰もが安心して健やかな生活を送ることができ、誰もがそれぞれの幸福を実感できる都市を目指すとともに、それらを次世代につなぐ都市づくりにチャレンジしてゆく計画といたしました。

今後は、多くの市民、事業者、関係者の皆さまと共に本計画を実行する中で、「人口減少」「少子高齢化」「自然災害激甚化」「ゼロカーボン」「SDGs」「アフターコロナ」「DX」など、多様かつ複合的な社会的課題に対応し、持続可能な「都市づくり」を進め、吉川市に「価値ある未来」を創り上げてゆきます。

結びに、本計画の改定にあたりまして、貴重なご意見、ご提案をいただきました多くの皆さまに敬意と感謝を申し上げますとともに、引続き、吉川市の「都市づくり」へのご理解とご協力をお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

※健幸 自然も都市も健全に成長させ、誰もが健やかに生活を送り、幸せを感じつづけられるという意味を込めた造語

令和4年（2022年）3月

吉川市長 中原 聡

